

難波から新今宮・新世界への南北軸形成に向けた基軸となる駅を目指して
新今宮駅リニューアル工事を実施します！
～2020年10月19日(月)着工～

南海電鉄(社長：遠北光彦)では、共創136計画の基本方針である「安全・安心で良質な交通サービスの提供」「なんばのまちづくり」「駅を拠点としたまちづくり」の一環として、2020年10月19日(月)から新今宮駅リニューアル工事を開始します。

難波駅に次ぐ乗降客数を誇る新今宮駅の東側では、星野リゾートが整備を進める都市観光ホテル「星野リゾート 0M07 大阪新今宮」の開発工事が進捗しているなど、同駅を取り巻く環境は今後変化していきます。

この度、難波から新今宮・新世界への南北軸の形成に向けた基軸となる駅を目指して、現状2階にある改札口を1階に移設するなど駅構内の環境改善を行い、ご利用されるお客さまのさらなる利便性・満足度の向上を図ります。詳細は別紙のとおりです。

【主な実施施策】

①お客さま動線の単純化による利便性向上

2階改札口の1階南北通路両側への移設(1階南北通路両側への改札口の新設)

4番線ホーム(南海本線上り列車発着)、2・3番線ホーム(高野線上り列車、南海本線下り列車発着)と改札口をそれぞれ結ぶエレベーターの1階着床化、4番線ホームのエレベーター大型化

②駅施設の整備によるお客さま対応機能の強化

1階南北通路の東側の改札口にオープンカウンターの駅務室を併設

③駅的美装化によるイメージの改善

1階南北通路と駅外壁の美装化



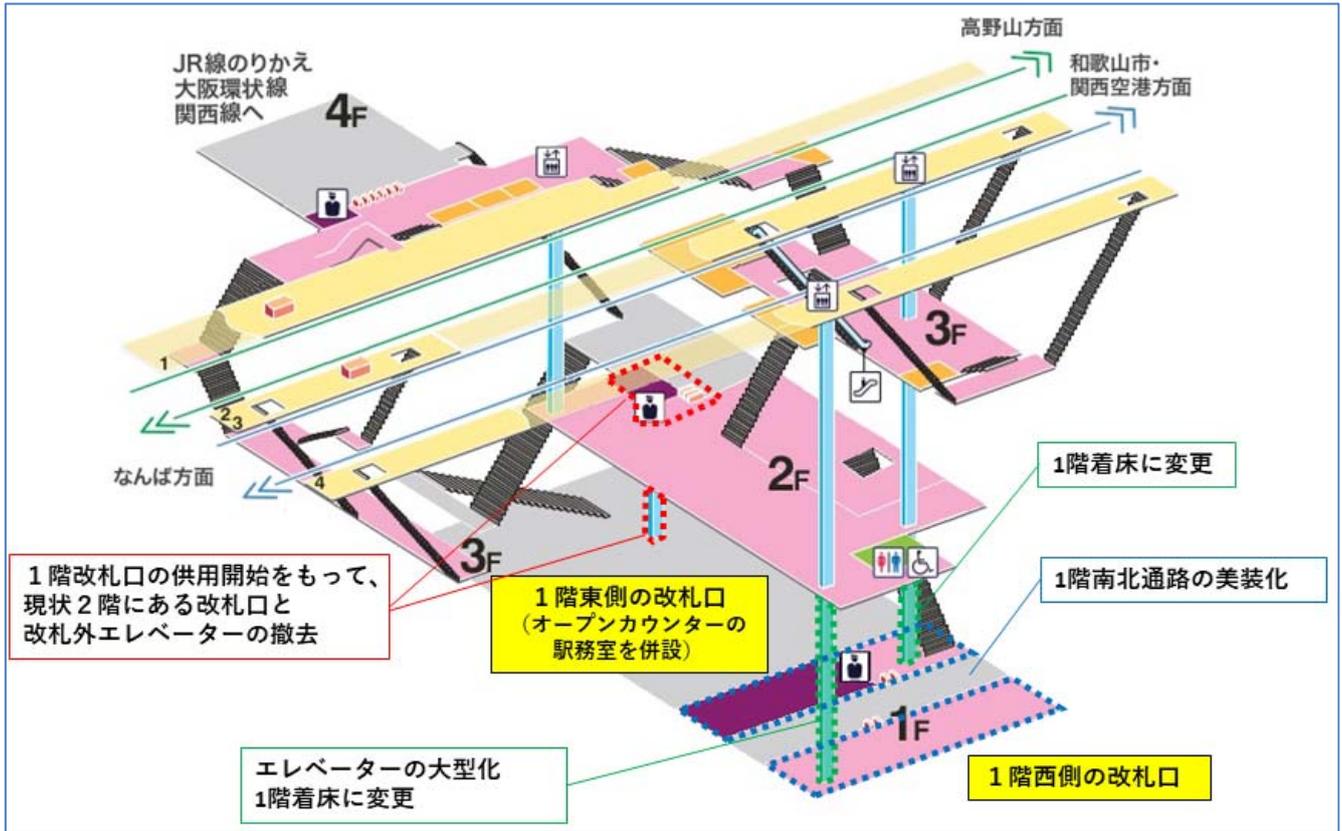
1階南北通路(現状)



1階南北通路(リニューアルイメージ)

別紙 新今宮駅リニューアル工事について

(1) 内容



新今宮駅構内図(リニューアル工事イメージ)

①お客さま動線の単純化による利便性向上

2階改札口を1階南北通路両側(東・西)に移設します。

また、ご利用されるお客さまにとって動線をわかりやすくするため、4番線ホーム(南海本線上り列車発着)、2・3番線ホーム(高野線上り列車、南海本線下り列車発着)と改札口をそれぞれ結ぶエレベーターを、1階着床に変更します。4番線ホームのエレベーターを、大型化します。

	< 現 状 >	< 変 更 後 >
4番線ホームのエレベーター	定員：11人	→ 定員：24人
2・3番線ホームのエレベーター	停止階：2・4階	→ 停止階：1・2・4階
	停止階：2・3・4階	→ 停止階：1・2・3・4階

なお、2階から1階に移設する改札口の供用開始(2022年3月予定)をもって、現状2階にある改札口と1階から2階へ向かうエレベーター(改札外)を撤去します。

②駅施設の整備によるお客さま対応機能の強化

1階東側の改札口には、オープンカウンターの駅務室を併設し、特急券や企画乗車券の発売などを行います。

③駅的美装化によるイメージの改善

新たにお客さまの主動線となる1階南北通路と駅外壁を美装化します。

(2) お客さまへのお知らせとお願い

新今宮駅リニューアル工事の実施に伴い、4番線ホームのエレベーター(南海本線上り列車発着)につきましては、以下の期間、ご利用いただけなくなります。

4番線ホームのエレベーター利用停止期間：2020年11月10日(火)～2021年12月末(予定)

利用停止期間中は、自走式階段昇降機をご用意いたします。

なお、昇降には時間を要しますので、以下のご利用をお願いします。

- ・南海本線上り列車から高野線に乗り換えをされるお客さま
難波駅または天下茶屋駅でお乗り換えください。
- ・JR線から難波方面にお乗り換えのお客さま
2番線の列車をご利用ください。
- ・新今宮駅から当社線にご乗車され、難波方面にお越しのお客さま
2番線の列車をご利用ください。

ご利用のお客さまには、ご不便をおかけし申し訳ございませんが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(3) 工事期間 2020年10月19日(月)～2022年3月(予定)

(4) 新今宮駅に関して

開業：1966年12月

住所：大阪市西成区萩之茶屋一丁目2番24号

2019年度1日平均乗降人員：97,603人

以上